

# 羽田高齢者在宅サービスセンター運営推進会議実施報告書

令和8年3月12日

事業所名	羽田高齢者在宅サービスセンター		サービスの種類	認知症対応型通所介護
電話番号	( 3745 ) 7854	報告者 職・氏名	生活相談員 平川 恵美子	
開催日時	令和8年3月11日(水) 14:00~15:00			
開催場所	3階 会議室			
出席者 7名	(内訳)			
	ご利用者	廣〇 久〇様		
	ご家族	2名		
	地域の代表	民生委員 山本 悦子様		
	区・さわやかサポート 地域包括支援センター羽田 保健師 在間様			
	事務局 管理者 松谷 由美子 生活相談員 平川 恵美子			
◆活動報告・活動計画				
<p>・毎月の行事や制作活動を通じて季節に関する話題を提供しています。個々との関わりを深く持つことでご利用者が大切にしていることを一緒に大切に、その方らしい暮らしの実現を目指します。ご利用者がイキイキとした瞬間が少しでも増やせるように取り組んでいます。</p>				
◆活動報告・計画に対する評価				
<p><b>【ご家族】</b>          ・時々、「そこに女の子が寝てる」「カーテンのところに人がいる」という時がある。そのような時は「いないよ」と伝えたほうがいいのか対応に困る時がある。          気持ちに余裕がある時は一緒に確認したり話を聞いているが、余裕がないときは否定してしまうことがある。そうするとすごい勢いで怒るため、ケンカになってしまう。また、コンビニのビニール袋のような物に靴下や靴など色々なものを詰めてしまい込んでしまうため、うかつにビニール袋を捨てることが出来ない。何をどこに入れたのか忘れてしまうため、困ってしまう。          デイサービスを利用するきっかけは、隣の家に「息子が死んじゃった」と飛び込んで行ってしまい、パトカーが3台来てしまった。それまでに尿路感染症などで入院することが多く、おかしくなってしまった。          (包括:在間氏)「デイサービスを利用するようになって何か変化はありましたか？」          (ご家族様)「デイサービスに通い始めてから落ち着くようになったので、助かっています。利用している間は自分も休めるので助かります。」</p>				
<p><b>【ご本人様】</b>          ・「楽しいから毎日でもいいですよ」</p>				
◆事業所に対する要望・意見				
<p>・持ち帰れる作品を作らせてもらいたい。持ち帰ってくると嬉しそうに見せてくれるので。</p>				
◆要望・意見に対する事業所からの回答				
<p>・毎月、制作活動があるので、ご参加いただけるようお声掛けしていきます。</p>				
◆地域・行政等からの情報提供				
<p><b>【民生委員】</b>          ・独居の高齢者が増えていますが、お一人暮らしだと比較的介入しやすいです。しかし、高齢者夫婦の世帯ではなかなか受け入れてもらえず、手が差し伸べられないことが多いです。こちらのデイサービスのような所に通えれば良いと思いますが、包括へ繋いでから時間がかかっていることもあります。お子さんがいても遠方に住んでいらつしゃると支援がタイムリーにはいかず、特にATMの利用など金銭管理の援助は民生委員では介入しにくい状況です。</p>				
<p><b>【包括支援センター】</b>          ・民生委員から情報が入っても、介入することが難しい状況です。「困ったことがあったら相談に来てください」とアナウンスしても、女性の場合は通いの場を利用するなど外に出てきやすいですが、男性が相談に来ることがほとんどありません。男性の独居が多くいらつしゃいますが、介入した時にはすでに大変なことになっていることが多く、金銭面でも関わりにくいのが現状です。羽田地区は地域力が高く、近所の繋がりが強くみられます。逆に繋がりが強いからこそ「知られたくない」という思いから相談しにくいこともあるようです。</p>				

◆その他・特記事項

特になし

※会議録作成にあたって

- ・報告書は2ページにわたっても構いませんので、文字は縮小しないでください。